

第五次国有林野施業実施計画書

(今治松山森林計画区)

計画期間 [自 平成28年 4月1日]
 [至 平成33年 3月31日]

四 国 森 林 管 理 局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	6
6	レクリエーションの森の名称及び区域	7
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	7
8	その他必要な事項	7
(1)	施業指標林、試験地等	7
(2)	フィールドの提供	8
(3)	森林共同施業団地	8
(4)	その他	8

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
別添1「国有林野施業実施計画図」による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採
方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添2「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		林地面積	取扱いの内容	伐期齢
施 業 群	スギ分散伐区	104	育成単層林施業 概ね5ha以下	45年
	ヒノキ分散伐区	57	〃 〃	50年
	スギ長伐期	99	〃 〃	90年
	ヒノキ長伐期	358	〃 〃	100年
	ぼう芽分散伐区	10	〃 〃	15年
	複 層 林	38	育成複層林施業 概ね20ha以下	80年
	他 層 林	518	育成複層林施業 〃	定めない
	択 伐	342	育成複層林施業 天然生林施業	定めない
施業群設定外		2		
合 計		1,529		

注1：施業群設定外は試験地等である。

注2：単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積（単位：ha）

施業群	上限伐採面積
スギ分散伐区	1 2
ヒノキ分散伐区	6
スギ長伐期	5
ヒノキ長伐期	1 8
ぼう芽分散伐区	3
複 層 林	3 2
他 層 林	定めない
択 伐	定めない

(4) 伐採総量

(単位：m³, ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ		—	—	—				
自然維持タイプ		—	—	—				
森林空間利用タイプ		—	1, 396 (5)	1, 396				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水源涵養タイプ	スギ分散伐区	4, 744	—	4, 744				
	ヒノキ分散伐区	3, 332	771 (3)	4, 103				
	スギ長伐期	5, 273	10, 696 (60)	15, 969				
	ヒノキ長伐期	2, 837	20, 671 (116)	23, 508				
	複層林	2, 396	8, 731 (63)	11, 127				
	択伐	110	1, 198 (6)	1, 308				
	ぼう芽分散伐区	262	—	262				
	該当外	—	240 (6)	240				
	小 計	18, 954	43, 463 (254)	62, 417				
合 計		18, 954	43, 463 (254)	62, 417	2, 000	64, 417	—	64, 417
年 平 均		3, 791	8, 692 (51)	12, 483	400	12, 884	—	12, 884

注 1：() は、間伐面積である。

注 2：単位未満四捨五入により、計と内訳は必ずしも一致しない。

(再掲) 市町別内訳

(単位：m³)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
伊予市		711	771				
今治市	6,407	10,601	17,008				
東温市	10,739	32,091	42,830				
砥部町	1,808		1,808				
計	18,954	43,463	62,417				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空利 用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造林	—	—	—	—	26	26
	複層林造成	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	26	26
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	1	1
	ぼう芽	—	—	—	—	3	3
	計	—	—	—	—	4	4
合 計		—	—	—	—	30	30

注：単位未満四捨五入により、計と内訳は必ずしも一致しない。

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
保 育	下 刈	—	—	—	—	53	53
	つる切	—	—	—	—	0	0
	除 伐	—	—	—	—	—	—

注：「0」は、単位未満の数値であることを表す。

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所（林班）	延長 （m）	備考
基 幹	開 設	木地奥	1050	500	
計			1箇所	500	
その他	開設	上ヶ成山	29, 30	1, 500	
計			1箇所	1, 500	
基 幹	改 良	木地奥	民有林、1049～1054	400	
計			1箇所	400	
その他	改 良	荒谷山	民有林	200	
		根無山	23～26	300	
		梅ヶ谷	民有林、26、27	300	
		上ヶ成山	30	100	
		上林・重信線	民有林、30、31	200	
		木地奥・51線	1051、1052	200	
計			6箇所	1, 300	
合 計		開 設	2箇所	2, 000	
		改 良	7箇所	1, 700	

4 治山に関する事項

位 置	区 分	工 種	計 画 量
30、1049、[1050]、 1053、1054	保安施設	溪間工	5箇所 (30.13ha)
		計	5箇所 (30.13ha)

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。保全施設の計は、溪間工・山腹工で重複する箇所は1箇所として集計した。

注2：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行できることとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種 類	名 称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
風景林	おおたにいけ 大谷池	既設	164.79	33 め	人工池とアカマツ、クロマツ等の松を主体とした森林美に優れている。	育成単層林施業	歩道 (県)		
				33 ろ 35 へ		育成複層林施業	駐車場 (県)		
				33 は、に1～2、 に11		天然生林施業	教養施設 (県)		
				34 い1～2、い21、 ろ、は1～5、に、 ほ、へ1～2、る 35 い、ろ、は、 に、ほ、と、ち			休養施設 (県)		
合 計			167.79						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設 定 年	面積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
次代 検 定 林	次代検定林	昭和47年	1.52	1050 よ1～4	精英樹系統種苗の遺伝的特性を検定するとともに、地域環境に対する適応性を明らかにする。

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
33 ろ、に1、に2 34 い1～2、ろ、 は3～4、に	「県民参加の森」 （ボランティア団体等の 自主的な森林整備の場合）	平成17年6月に愛媛県と 「ふれあいの森」協定を 締結 設定面積 52.83ha
33 い	「えひめ学生遊々の森」 （学習・体験活動のため のフィールドを提供）	平成19年10月に「えひめ 学生森林ボランティア」 と「遊々の森」協定を締 結 設定面積 12.94ha

(3) 森林共同施業団地
該当なし。

(4) その他
森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

位 置（林小班）	面積ha	施業方法
1049 ろ、り、ぬ1、る、る1 1052 へ、と1～3	13.56	育成複層林施業
24 と、り 25 に 26 ほ 27 ち 28 と、ち 29 ち 30 へ 31 ろ 1049 ぬ2、わ 1050 ぬ 1051 ち 1052 ほ	84.64	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーションの森、ふれあいの森等協定の森林及び
施業指標林、試験地等のことである。